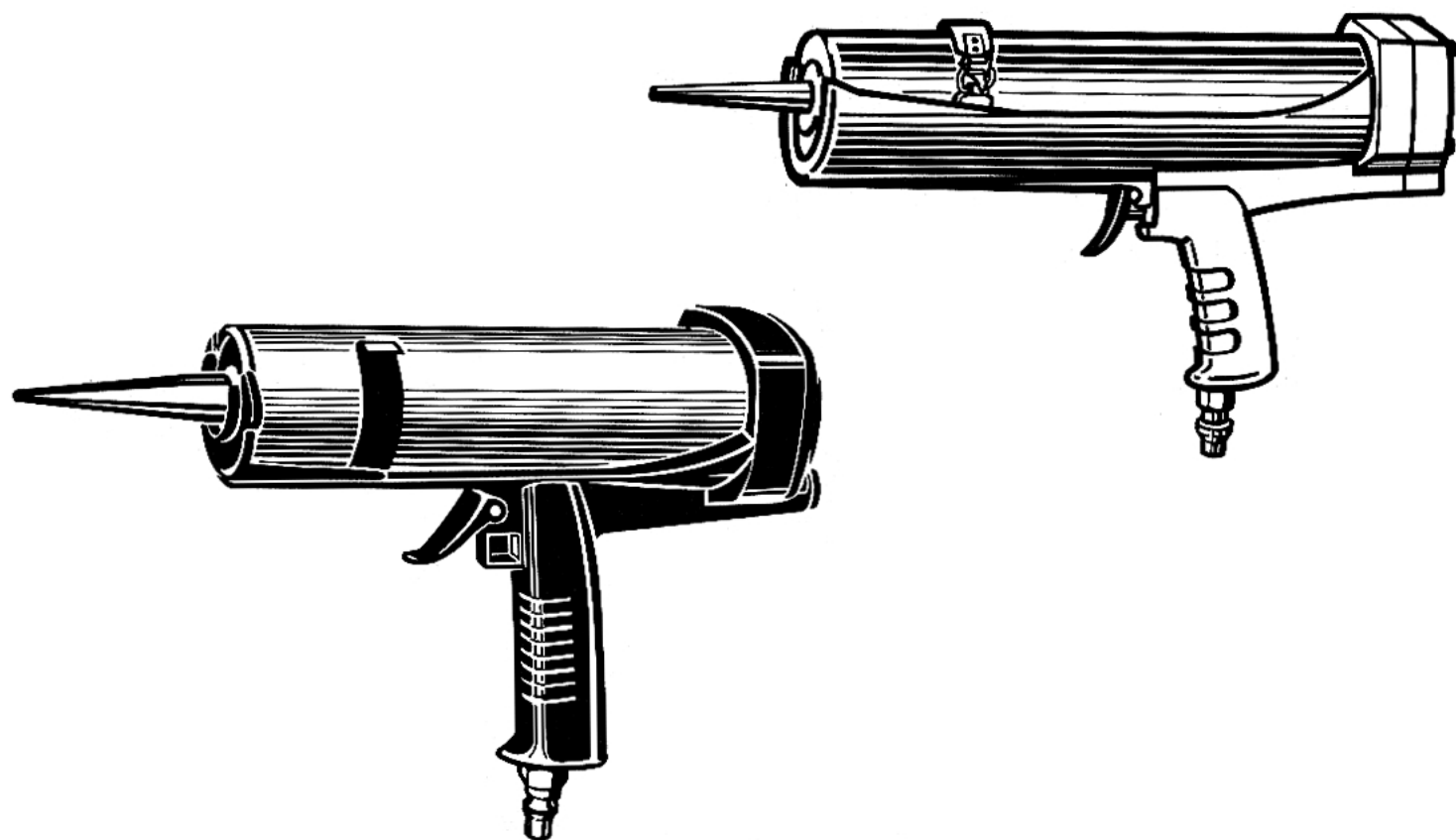


# マックスエアコーキングガン AT-CG50 AT-CG60

## 取扱説明書



### ⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用しない時、また、調整・修理の時は必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

**MAX**®

このたびは、マックスエアコーキングガンをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機のご取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

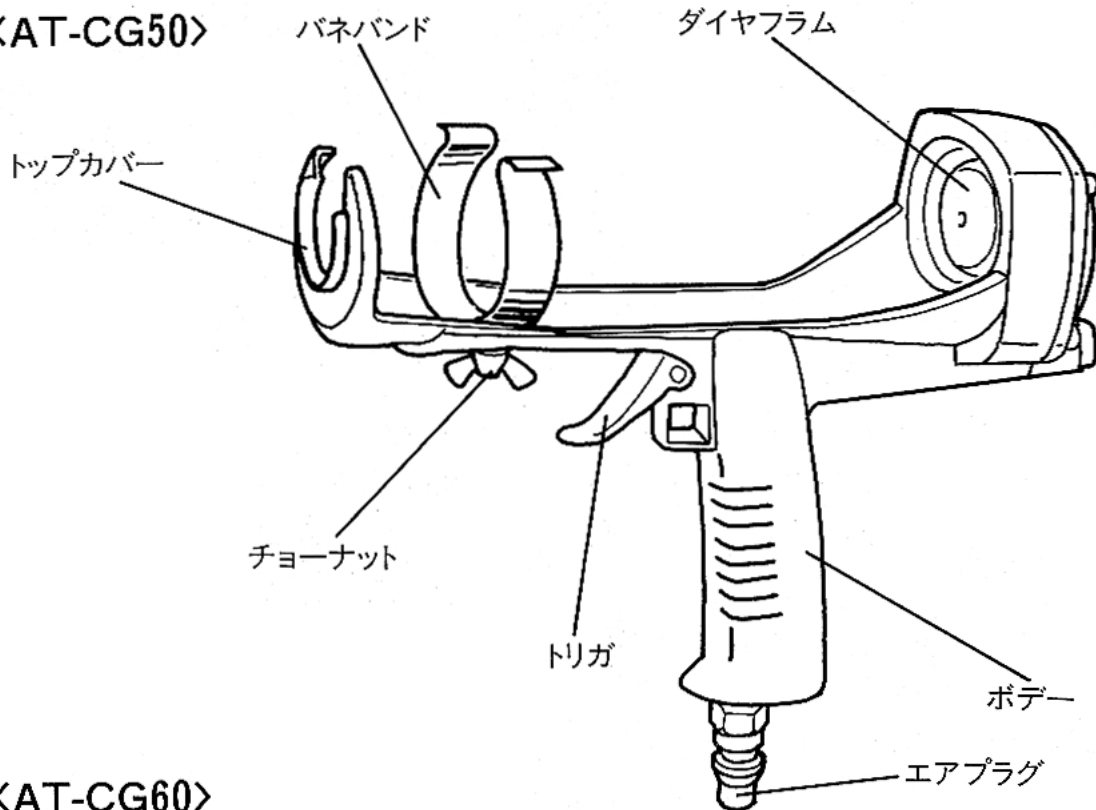
## 目 次

1. 各部の名称	1
2. 用途	1
3. 安全作業のために	2
4. 安全装置について	7
5. 商品仕様	7
6. 使用方法	8
7. 性能を維持するために	11

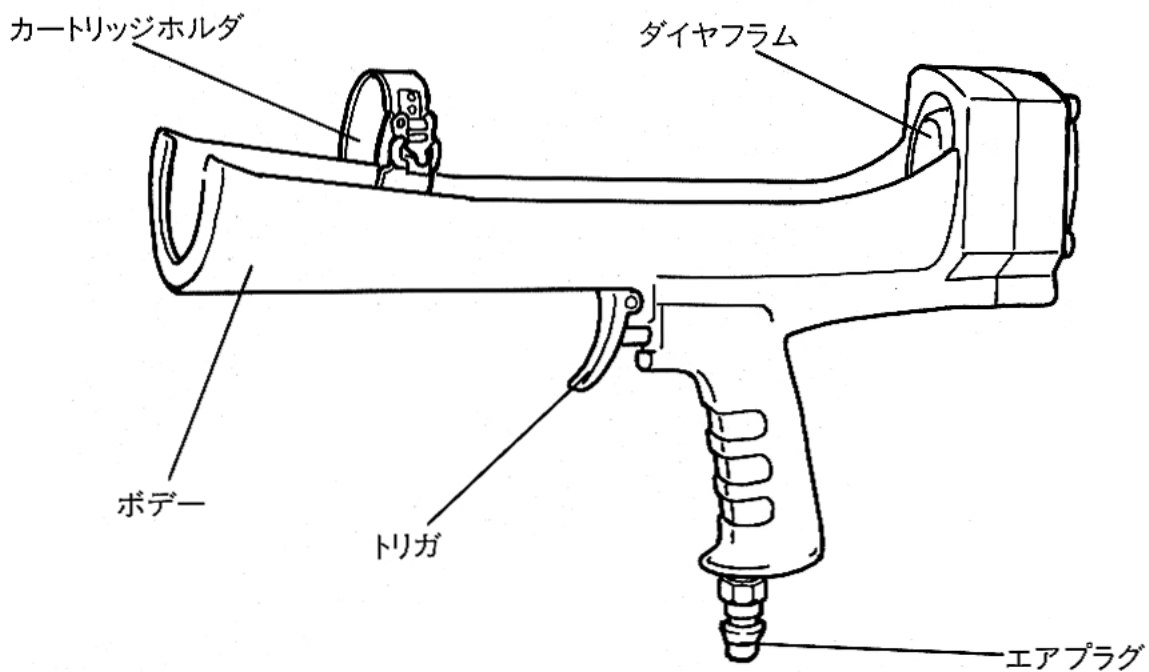
全国販売拠点、サービス拠点一覧

# 1 各部の名称

<AT-CG50>



<AT-CG60>



# 2 用途

プレハブ、ビル内装・ダクト工事、エクステリア、バスユニット、キッチンユニット、シャッターなどのコーキング・シーリング・接着作業

本機は、各種用途のコーキング・シーリング・接着作業を目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

### 作業前

#### ①作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて保護メガネ、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

※保護メガネは別売品で販売しております。お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へお申しつけください。

#### ②エアホース接続前に必ず点検する。

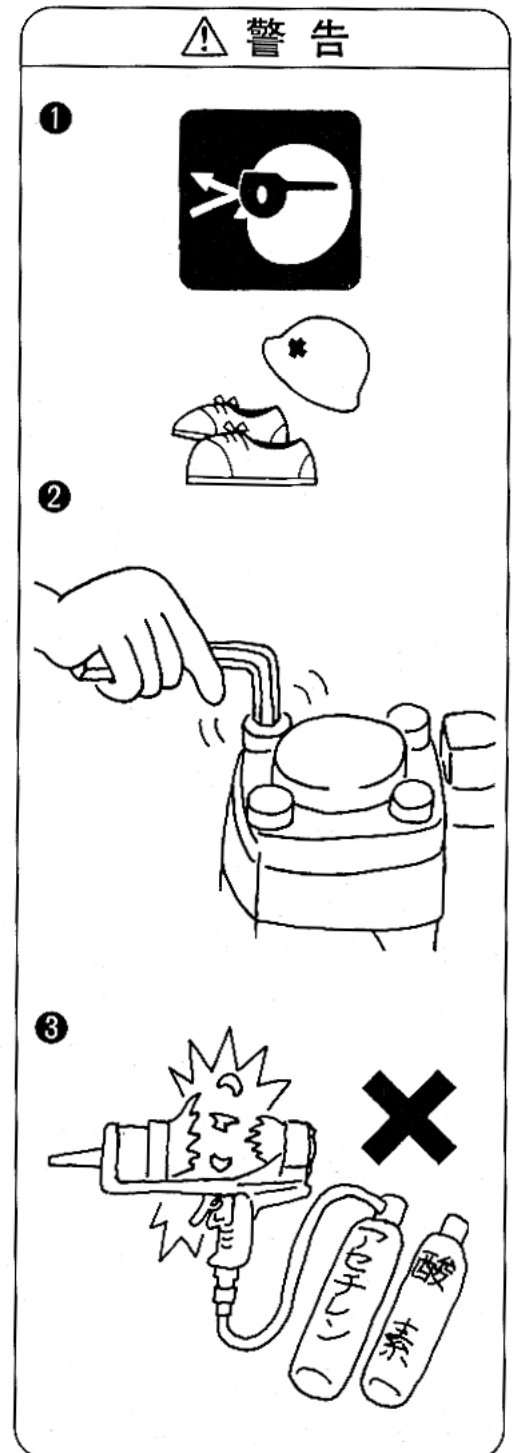
エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

#### ③エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。



⚠ 警告  
安全作業のために

④エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

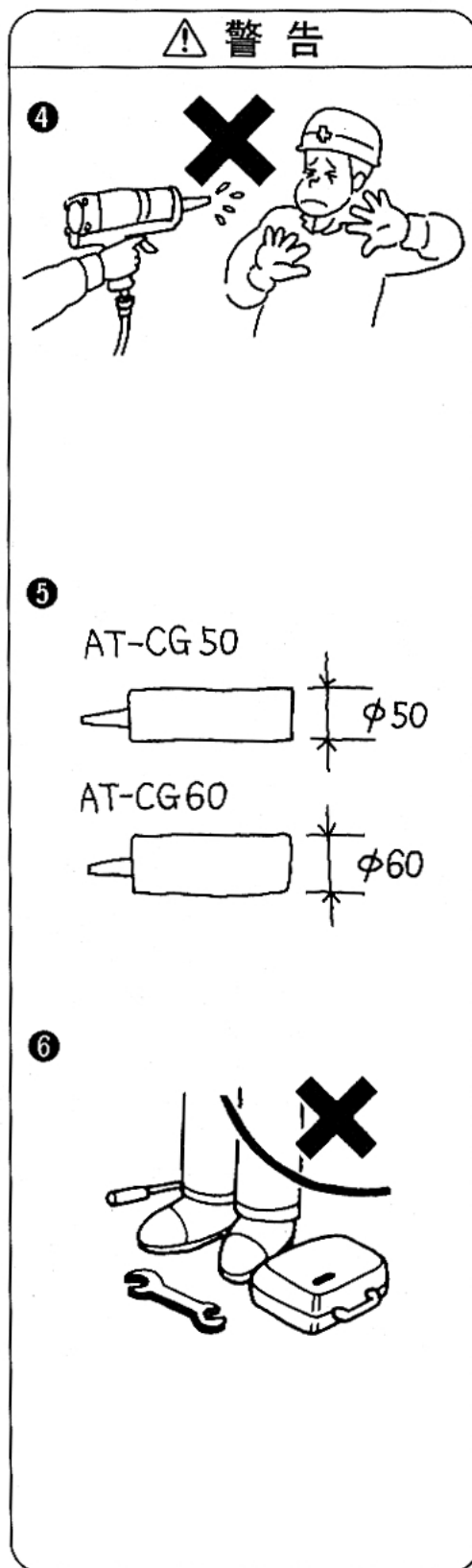
- 1.トリガに指をかけない。
- 2.カートリッジのノズルを人体に向けない。

⑤指定筒径にあったカートリッジを必ず使用する。

指定されたカートリッジと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のカートリッジ筒径のものをご使用ください。

⑥作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。



### 作業中

#### ①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は、1～3kgf/cm<sup>2</sup> (0.098～0.294MPa) です。その範囲内で調整し使用してください。3kgf/cm<sup>2</sup> (0.294MPa) を超えた圧力で使用するとカートリッジの破損等危険を生じる恐れがあります。

#### ②揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

#### ③作業中断時は必ずエアホースをはずす。

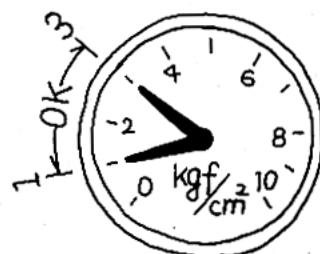
作業中のカートリッジ装填、調整のときは誤って作業すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

#### ④異常を感じたら絶対に使用しない。

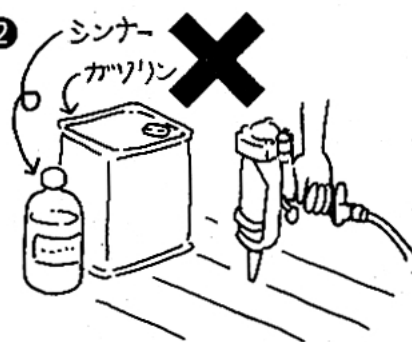
作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

### ⚠ 警告

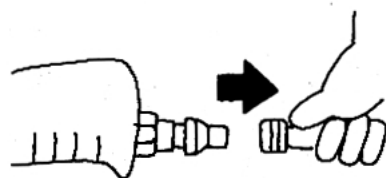
①



②



③



④

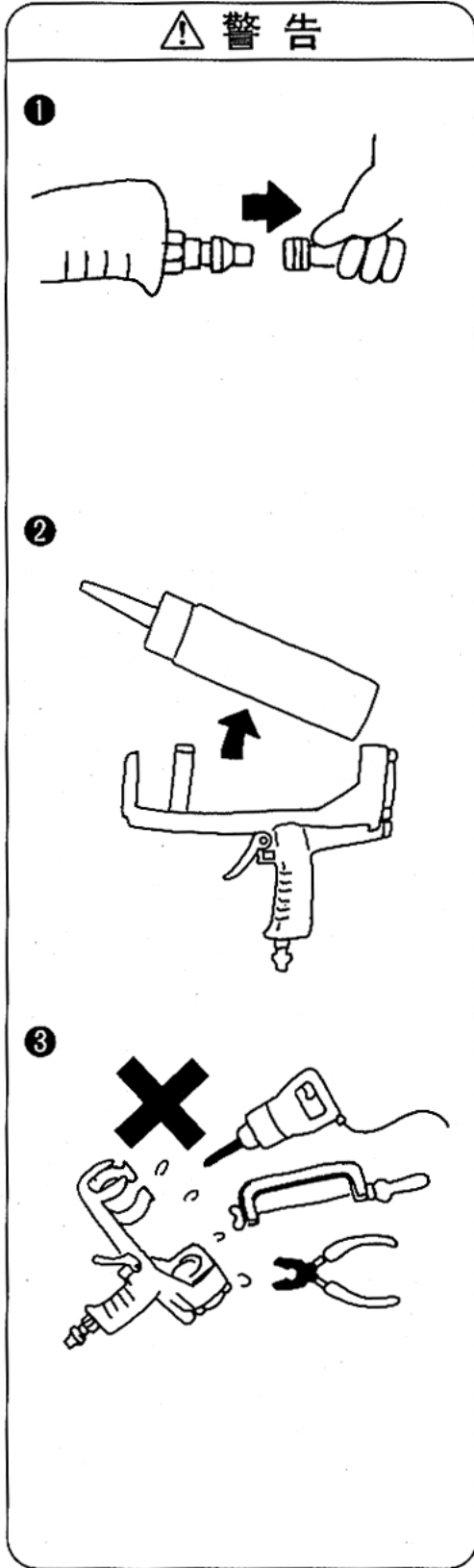


# 3

## ⚠ 警告 安全作業のために

### 作業後

- ① **作業終了時には必ずエアホースをはずす。**  
作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。
  
- ② **作業終了時には必ずカートリッジを抜き取る。**  
カートリッジを本体に残しておくと、次に使用する  
ときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、  
思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時  
には必ず本体にセットしたカートリッジを抜きとつ  
てください。
  
- ③ **本機を絶対に改造しない。**  
本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばか  
りでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わな  
いください。



屋外作業について

① 足場の安全性を十分に確認する。

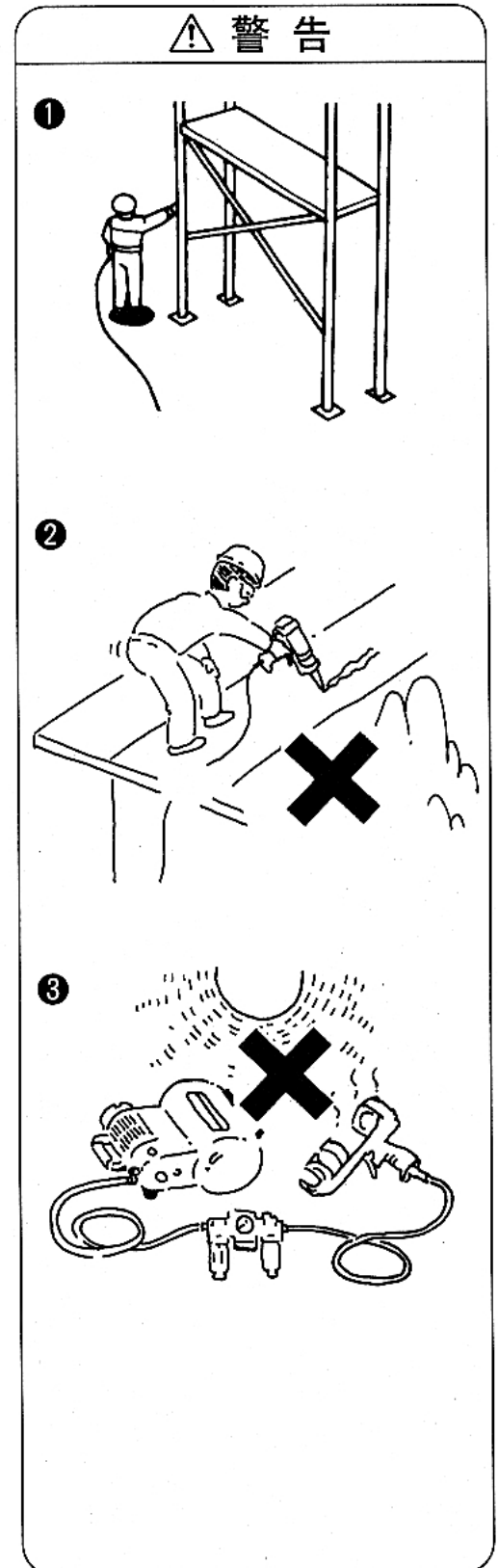
足場を使つての高所作業の場合、作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

② エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

③ 直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

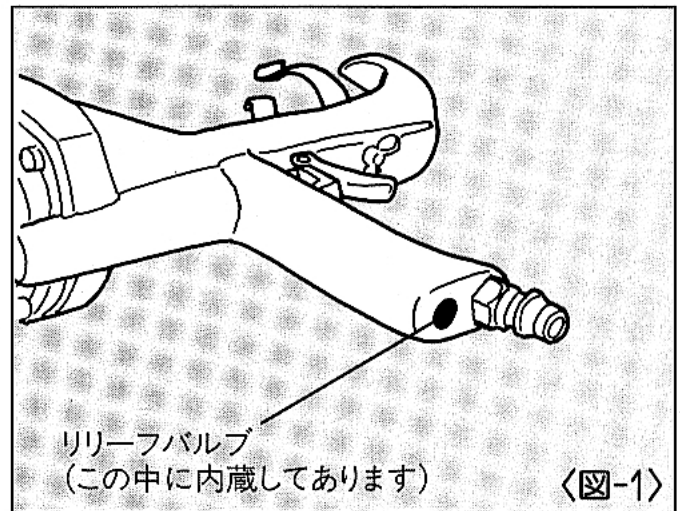




## 4 安全装置について

### ● リリーフバルブ

本機の使用空気圧範囲は1~3kg f/cm<sup>2</sup> (0.098~0.294MPa) です。3kg f/cm<sup>2</sup> (0.294MPa) を超える圧力では使用しないでください。異常高圧で使用するとリリーフバルブより音を発生し減圧します。その場合はただちに作業を中断し、エアホースをはずして打込圧力を再調整してください。また、エアコンプレッサ・空気経路を点検してください。なお、本機のリリーフバルブはボデー部後方本体に内蔵しています。 <図-1>



## 5 商品仕様

商 品 名	マックス エアコーキングガン	
商 品 記 号	AT-CG50	AT-CG60
寸 法	(H)250×(W)67×(L)175mm	(H)346×(W)83×(L)220mm
重 量	535g	970g
使用カートリッジ	筒径φ50mm	筒径φ60mm
使用空気圧範囲	1~3kgf/cm <sup>2</sup> (0.098~0.294MPa)	
使用ホース	内径7mm以上、長さ30m以内	
使用オイル	タービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)	
安全装置	リリーフバルブ	

# 6 使用方法

## 【カートリッジの装填方法】

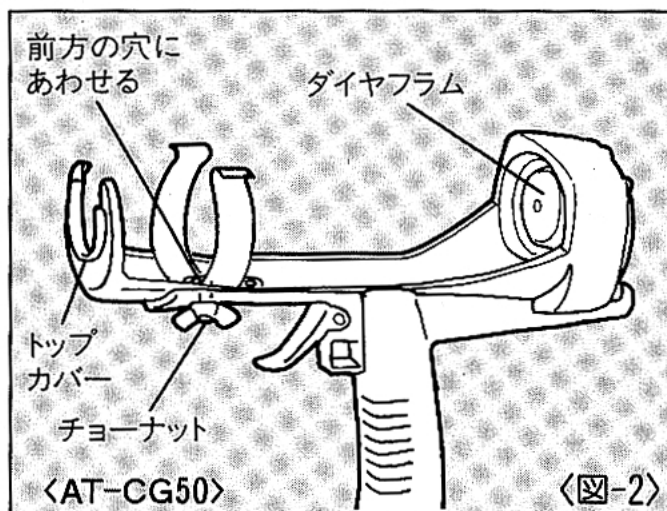
### ⚠ 警告

●カートリッジを装填するときは、必ずエアホースをはずす。

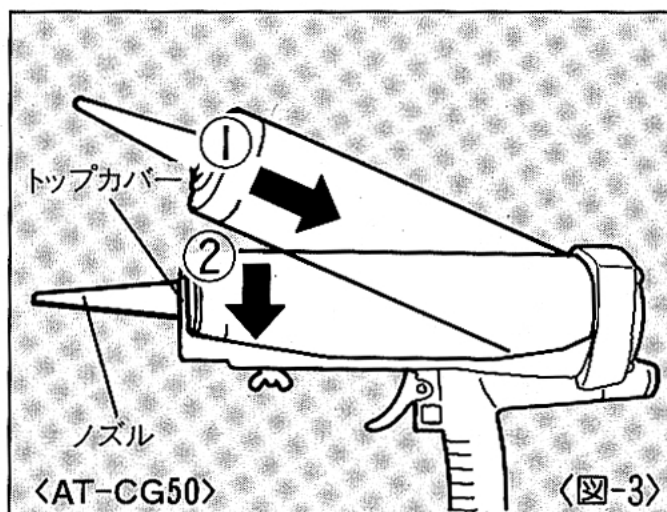
## 〈AT-CG50〉

### 手順

①AT-CG50は330cc(1/3ℓ)カートリッジ用にセットしてあります。360ccカートリッジを使用する場合は、チョーナットをはずしてトップカバーをボディ前方の穴にあわせてください。〈図-2〉

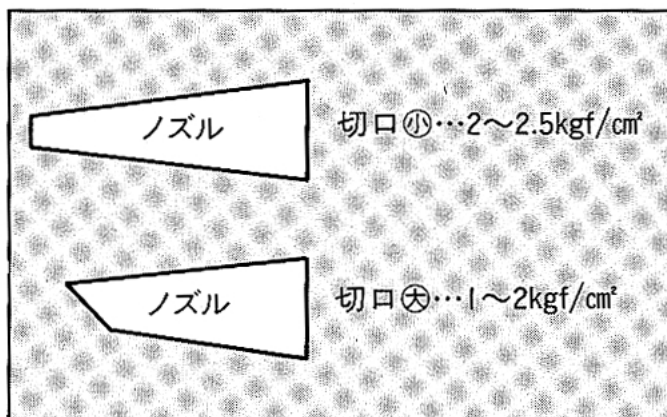


②カートリッジ後部を本機後部のダイヤフラム側に入れ、ノズルをトップカバーに入れます。〈図-3〉



③カートリッジ先端を使用状況にあわせてカットします。

※ノズルの切口形状と空気圧力との関係は、右図を参照して、コンプレッサの圧力を調整してください。



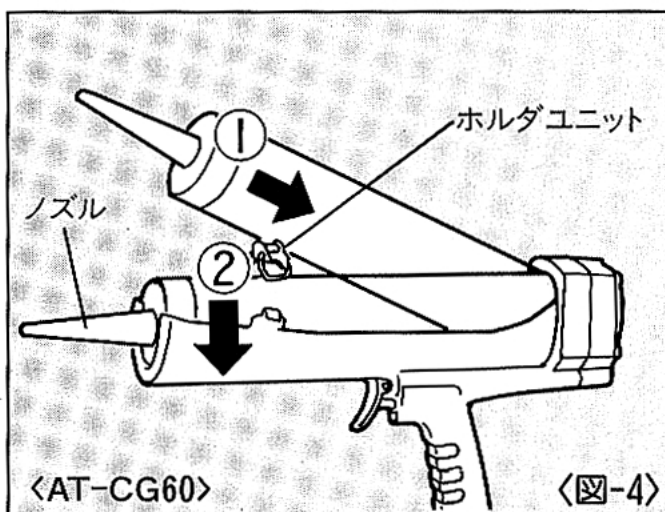
## <AT-CG60>

### 手順

- ①カートリッジ後部を本機後部のダイヤフラム側に入れ、ノズルをトップ部分に入れます。 <図-4>

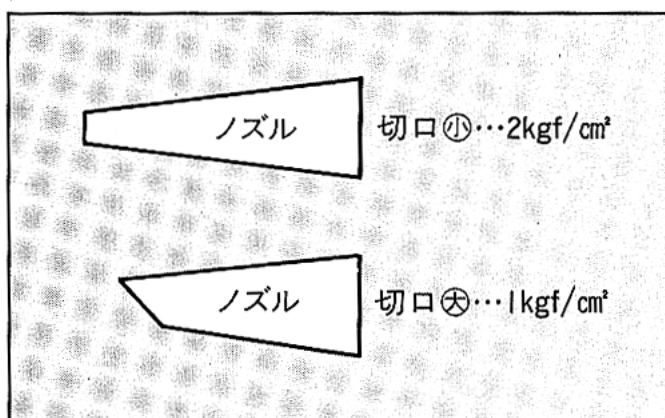
### ⚠ 注意

- カートリッジ装填後は、ホルダユニットでしっかり固定してください。



- ②カートリッジ先端を使用状況にあわせてカットします。

- ※ノズルの切口形状と空気圧力との関係は、右図を参照して、コンプレッサの圧力を調整してください。

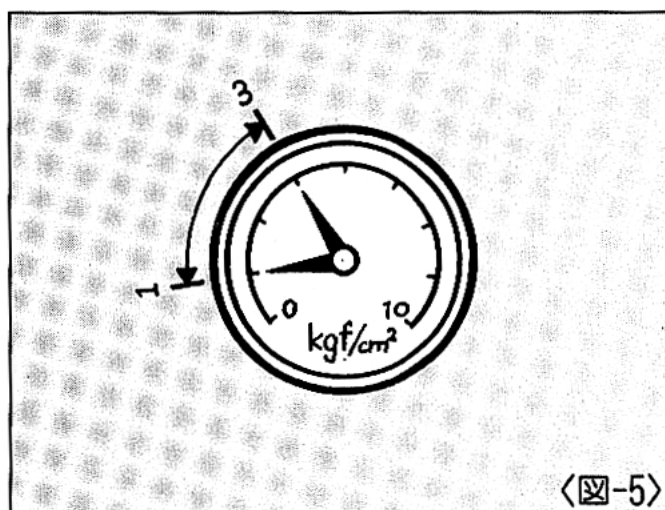


### 【使い方】

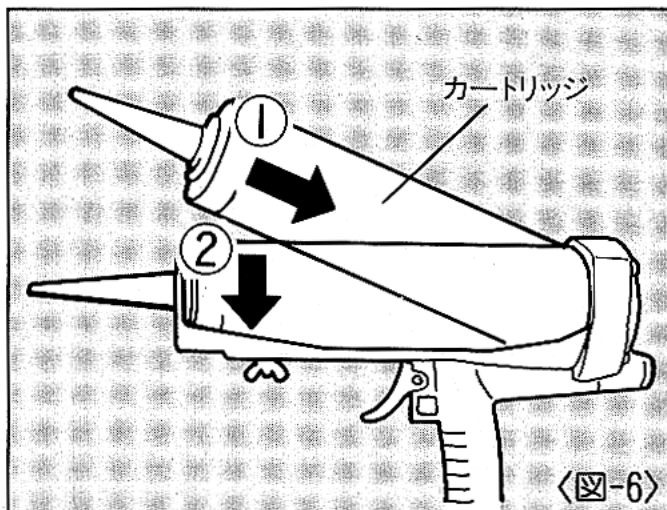
- ①エアコンプレッサの圧力を調整します。  
1~3kgf/cm<sup>2</sup> (0.098~0.294MPa)

<図-5>

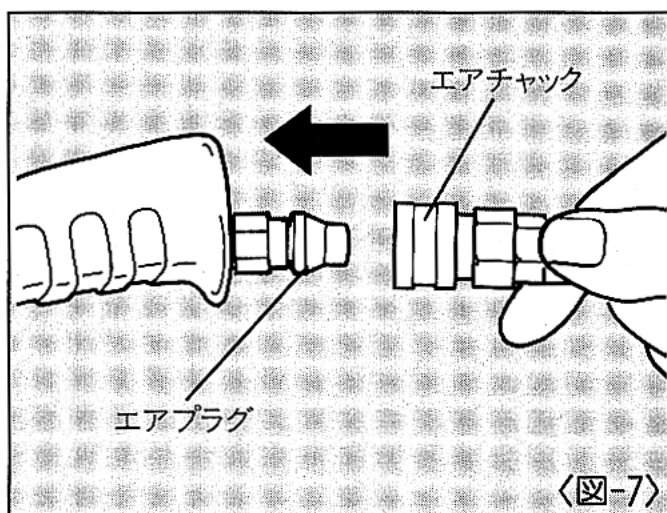
- ※レギュレータが装備されていないコンプレッサをご使用の場合には、別売のマックス調圧器AC-1をお使いください。



②カートリッジを装填します。 <図-6>



③エアホースを接続します。 <図-7>

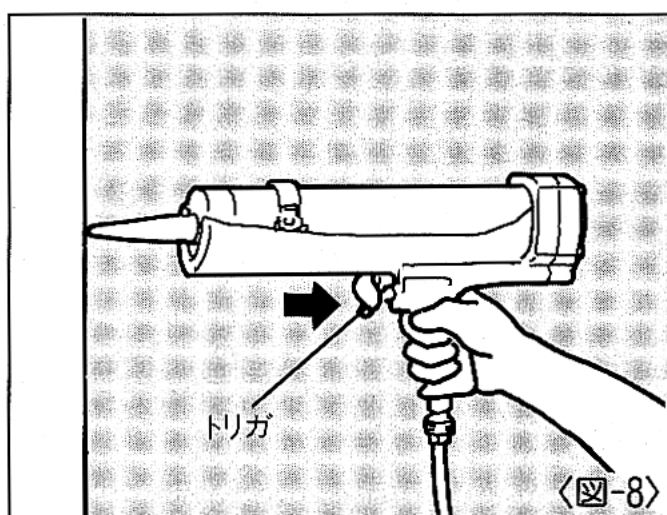


④使用箇所にノズルの先端を当てます。

⑤トリガを引きます。

トリガを引いている間、充填作業が行なえます。

<図-8>



## 7

## 性能を維持するために

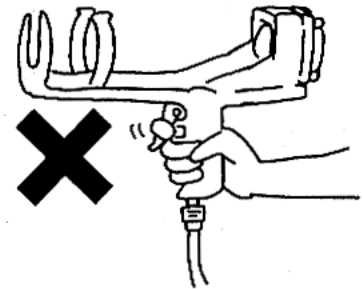
## ①本機を大切に使う

落したり、ぶついたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶついたり、叩いたりしないでください。



## ②カートリッジを装填しない時にトリガを引かない

カートリッジを装填しない状態でトリガを引くと、ダイヤフラムの損傷、破損の原因になりますので絶対にトリガを引かないでください。

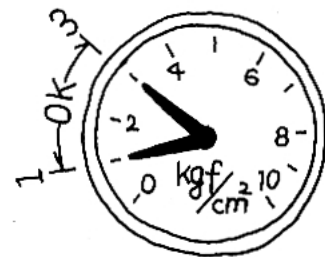


## ③指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2~3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。

④使用空気圧3kgf/cm<sup>2</sup> (0.294MPa) 以上では使用しない

本機の使用圧力範囲は1~3kgf/cm<sup>2</sup> (0.098~0.294 MPa) です。3kgf/cm<sup>2</sup> (0.294MPa) 以上で使用すると、本機の寿命が短くなるばかりでなく、カートリッジ破損の原因にもなりますので、いかなる場合でも3kgf/cm<sup>2</sup>以上では使用しないでください。



## ⑧定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。



本社・営業本部	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌店	〒060 札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台店	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031(代)
広島店	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020 盛岡市仙北町下野18-1	TEL(0196)35-5575(代)
多摩営業所	〒187 小平市小川町2-1253	TEL(0423)44-6268(代)
宇都宮営業所	〒321 宇都宮市築瀬町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
柏営業所	〒277 柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500
川崎営業所	〒213 川崎市高津区久地597-1セブンエーステート久地IF	TEL(044)844-4700(代)
泉南営業所	〒596 岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211(代)
神戸営業所	〒658 神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220(代)
南九州営業所	〒891-01 鹿児島市上福元町2578-1サンアベニューIF	TEL(0992)69-5347
新潟マックス(株)	〒955 三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス(株)	〒310 水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(0292)55-3761(代)
群馬マックス(株)	〒379-22 佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス(株)	〒331 大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284 四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241 横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒390 松本市笹部1-6-25	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-22 長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422 静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921 金沢市森戸2-15	TEL(0762)40-1871(代)
富山営業所	〒930 富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒910 福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
岐阜マックス(株)	〒500 岐阜市北一色4-3-5	TEL(0582)47-6121(代)
京滋マックス(株)	〒612 京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒673-04 三木市大村高柳109-1	TEL(07948)3-2121(代)
岡山マックス(株)	〒700 岡山市野田3-32-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761 高松市上天神町761-3	TEL(0878)66-5599
徳島営業所	〒770 徳島市末広2-1-17	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790 松山市市坪北1-17-1	TEL(0899)58-4031(代)
マックスサービス(株)本社	〒330 埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815
マックスサービス(株)名古屋	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
マックスサービス(株)福岡	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430
マックスサービス(株)広島	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
マックスサービス(株)仙台	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060 札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358  
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。